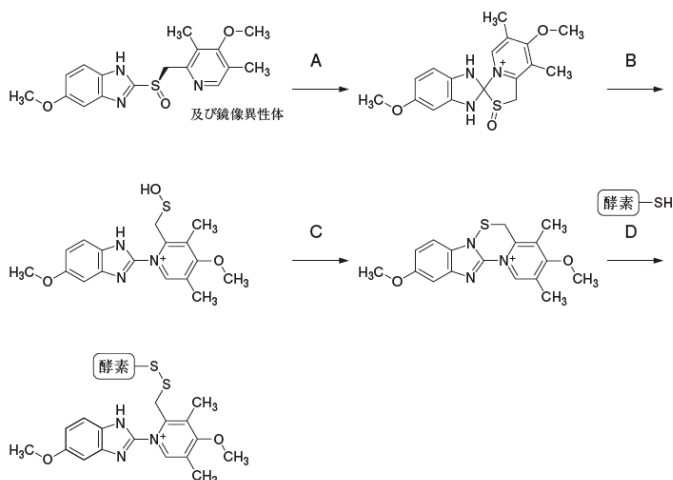


# 103-212

## 問題文



1. Aの反応はpHが7より大きいと加速される。
2. Bの過程で不斉中心は消失する。
3. Cは酸化還元反応である。
4. Dでは酵素のシステイン残基と反応する。

## 解答

問212 : 4, 5問213 : 2, 4

## 解説

### 問212

オメプラゾール、ラベプラゾールは 粉碎不可 という点がポイントになります。また、半錠に分割するのは 解決になっていません。従って、選択肢 1~3 は誤りです。

以上より、正解は 4,5 です。

※PPI (Proton pump inhibitor) は、 大体粉碎不可ですが、 ランソプラゾール (タケプロン) は 緩やかにであれば粉碎可能です。

### 問213

オメプラゾールは弱塩基性薬物であり、 酸分泌が生じている所に集積し 特異的に活性化されて作用を示します。

選択肢 1 ですが

A の反応は、酸による活性化です。従って、 pH は 7 より小さいと考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

$\text{H}_2\text{O}$ が抜けているので脱水反応と 考えられます。 酸化還元反応ではありません。  
よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

以上より、正解は 2,4 です。